

平成 25 年度環境目標達成状況

1 環境目標達成状況

環境目標全 12 項目のうち、達成 8 項目、未達成 4 項目

環境目標の項目	目標値	取組結果	達成状況	備考
1 地球環境…地球環境にやさしいまち				
1 省エネルギーの推進				
①エネルギー消費量(原油換算値)を基準値に対して1%削減	基準値 19,846k1 目標値 19,647k1	17,687k1 (基準値比 △10.9%)	達成	
②ノーカーデー(月2回以上)実施職員の割合	100.0%	109.7%	達成	
③グリーン購入不適合品目数	0品目	0品目	達成	
2 事業者における新エネルギー導入の促進				
①風力発電施設4機により削減される温室効果ガス	1,040t-CO ₂	1,399t-CO ₂	達成	
3 地産地消の推進				
①学校給食において使用量の多い青果物5品目の地場産(上越市産)使用割合	年度末までに 7.0%	11.8%	達成	
2 自然環境…多様な自然が広がるまち				
1 環境影響の軽減				
①自然環境保全条例による保全地域指定か所数	年度末までに 1か所	2か所	達成	くわどり市民の森、五智公園を指定
2 河川・池沼等の自然環境の保全				
①污水衛生処理率	79.5%	80.3%	達成	
3 生活環境…資源が循環するまち(ゼロエミッション)				
1 環境保全型農業の推進				
①減農薬・減化学肥料による水稻栽培面積	3,200ha	2,712ha	未達成	
2 ごみゼロ・不法投棄				
①市内の家庭系及び事業系ごみの排出量	72,749t	69,975t	達成	
②全市クリーン活動への参加者数	60,000人	58,182人	未達成	
4 環境学習…一人一人が環境市民のまち				
1 学習機会の拡大				
①環境学習講座の実施回数	回数 629	回数 543	未達成	
②環境学習講座の参加者数	人数 20,510	人数 16,711	未達成	

2 未達成項目及び理由

3 生活環境…資源が循環するまち(ゼロエミッション)	1 環境保全型農業の推進
----------------------------	--------------

① 減農薬・減化学肥料による水稻栽培面積

【目標値】 3,200ha 【実績値】 2,712ha 【達成率】 84.8%

化学肥料・化学合成農薬の 5 割以上低減栽培は、病虫害防除や肥培管理に高い技術が必要であり、品質や収量の安定が比較的困難であるとともに、5 割低減米と一般米の価格差が縮小していることから、取組農家が減少した。

また、25 年度は水稻栽培期間中の気温が高く、生育状況が旺盛になり、追加で肥料を施用する必要が生じたことで化学肥料の使用が 5 割低減に満たなくなるほ場が発生するなどし、結果として目標が未達成となった。

市では、化学肥料・化学合成農薬の使用を低減することを関係機関・団体と連携して取り組んでおり、5 割以上低減の面積は減少したものの、主食用水稻の 3 割以上低減の面積は 10,576ha と作付面積の 97.5%を占めている。

3 生活環境…資源が循環するまち(ゼロエミッション)	2 ごみゼロ・不法投棄
----------------------------	-------------

② 全市クリーン活動への参加者数

【目標値】 60,000 人 【実績値】 58,182 人 【達成率】 97.0%

悪天候により、クリーン活動への参加者が少なかったことから目標未達成となった。

4 環境学習…一人一人が環境市民のまち	1 学習機会の拡大
---------------------	-----------

① 環境学習講座の実施回数、② 環境学習講座の参加者数

◆実施回数 【目標値】 629 回 【実績値】 543 回 【達成率】 86.3%

◆参加者数 【目標値】 人数 20,510 人 【実績値】 人数 16,711 人 【達成率】 81.5%

NPO へ委託・実施していた講座を一部廃止したこと、小中学校等の大口の利用団体が少なかったこと及び悪天候による事業の中止により目標未達成となった。

環境学習の実施主体は、市から大学や事業者をはじめとした民間団体へシフトしており、多様な環境学習の機会が創出されている。

【参考】平成 25 年度に財団法人上越環境科学センターが実施した環境学習講座

実施回数：101 回、参加者数：6,819 人

実施内容：ごみの分別・減量、省エネ、地球温暖化など